



令和5年度

横浜市立生麦小学校

学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 小倉 孝行
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



3月 (弥生)

最後の一日まで

校長 小倉 孝行

まだ寒い日もありますが、日中の日差しに暖かさを感じる季節になりました。2月16日(金)の授業参観(1~5年生)、学校報告会、懇談会では、平日にもかかわらず多くの保護者の皆様に来校いただきました。どうもありがとうございました。授業では、子どもたちが自分で見つけた課題や疑問を、仲間と協力して解決したり、緊張しながらも一生懸命発表したりしている様子をご覧いただき、お子さんの1年間の成長を実感されたと思います。また、体育館では4年生が「10歳を祝い会」を開きました。来年度高学年の仲間入りをする子どもたちが、10歳の節目に、これまでの家族への感謝と将来の夢を保護者の皆様に伝えました。児童一人ひとりが保護者の皆様に、日ごろ言えない感謝の気持ちを照れながらも素直に伝えていました。いきものがかりの「ありがとう」を、泣きながら熱唱する子どもたちに、参観された保護者の皆様も胸を熱くされたのではないのでしょうか。



6年生「感謝の会」の様子

2月21日(水)、22日(木)には来年度入学する園児を招き、1年生が園児に歌を歌ったり、数字を教えたり、植物の育て方について説明したりと頑張っていました。その後、5年生が園児とペアになり校内を紹介しました。あるペアが校長室前の廊下に来たとき、5年生が園児に「入るときは『素晴らしい』って言うんだよ。」と伝えている途中で、園児が「わー、ソファーだ!」と校長室に入ってきました。5年生の児童はあわてて私に「先生ごめんなさい。」と言い、でも園児と一緒にソファーに腰かけ「もうすぐ生麦小学校は100周年なんだよ。すごいでしょ。一緒にお祝いするんだよ。」と笑顔で話しかけていました。4月になれば1年生は2年生に進級し、先輩として新入生に色々なことを教えてくれることでしょう。そして、5年生は最高学年となり、たてわり活動のペアとなるこの園児たちを優しくお世話してくれることでしょう。いよいよあと1か月で各学年とも一学年上がり、進級・進学となります。あと少し。ですがその「最後の少し」を大切に、これまで通り保護者の皆様、地域の皆様、学校とが連携をして、「子どもたちのために」を合言葉に丁寧に取り組み、来年度につなげていきたいです。

3月19日(火)は卒業式です。来賓の皆様、6年生の保護者の皆様、どうぞお子さんの晴れの舞台をご覧ください。2月27日(火)の「感謝の会」でも、6年生の保護者の皆様は、お子さんの成長を感じられたことだと思います。ですが、私は最後の一日まで、お子さんを成長させたいと考えています。それには皆様のご協力が必要です。どうぞ小学校生活最後の登校13日間を大切に、皆様の思いをお子さんに伝え、中学校へ送り出してあげてください。きっと、卒業式の日、子どもたちは私たち大人に立派な姿を見せてくれることでしょう。6年生の保護者の皆様とは、学校だよりではこれが最後となります。これまで本校の教育活動にご理解とご協力いただきありがとうございました。校内で歩いているとき、街でお会いしたときに声をかけていただいたり、学校だよりの感想をお聞かせていただいたり、ととてもうれしかったです。どうぞ最後の一日まで、よろしく願いいたします。

○ 学校アンケートのご回答ありがとうございました

2月9日(金)の夜、日頃より学校を支えていただいている地域の皆様をお招きして「まちとともに歩む学校づくり懇話会」「学校運営協議会」を開きました。会合では、保護者の皆様に回答いただいた今年度の学校アンケートの結果をお伝えしました。保護者、委員の皆様からいただいたご意見を参考に来年度の教育活動に生かして参ります。アンケートのご回答ありがとうございました。